

高齢者疑似体験

「うらしま太郎・つくし君」通信

発行：WAC事務局

暦の上では秋ですが、まだまだ暑い日が続いております。WAC 会員の皆さまは如何お過ごしでしょうか。

これから涼しくなりますと、秋のイベント等で「うらしま太郎」が活躍するかと思います。身近なところで行われたイベントなど、皆さまの楽しいご報告をお待ちしております！

「心の交通バリアフリー研修」「高齢者の交通安全対策研修」を行って



わをんでは「心の交通バリアフリー研修」を、愛媛県バス協会と協働で行っており、今年で12年目となりました。県内3地区のバス会社乗務員の方が対象です。乗務員の方は、うらしま太郎を装着してバスに乗り込みます。バスの中では、電光掲示板の料金表を見たり、アナウンスを聞いたりします。実際バスは、市内を走ります。バスから降りる時、お財布から小銭を取り出し、両替をして料金箱に入れます。体験者は整理券の番号が見えなかったり、アナウンスが聞こえなかったり、両替しようとして小銭を車内ではら撒いたり、と思ったような動きが出来ず、焦ったり不安になったりして、バスの運転手にも気兼ねをしていました。この体験は、高齢者にとって公共の交通機関が使いやすいものになるように、高齢者の体と気持ちを理解し、接遇向上に努める研修です。

平成27年度は「高齢者の交通安全対策研修」を石原自動車教習所で行いました。この研修も平成16年から愛媛県警と協働で行っており、今回は高齢者講習を行っている松山市内の教習所の教官も参加しました。体験者はうらしま太郎を装着し、運転席に座ります。封筒の中に「エンジンをかけてください」「バックミラー、サイドミラーを合うよう調節してください」「エアコンをかけてください」など指令の紙が入っており、体験が終わったら、助手席に座り、介助者役の教官が運転して、コースに出ます。助手席から信号の色を見てもらったり、横断歩道の歩行者を見つけて止まったり、線路のコースで左右を確認したりと、普段の教習通りに走ってもらいました。実際、認知症の心配がある高齢者や、運転機能が低下している人が受講しに来ているとのこと。この体験によって、見えてきた問題点が多くあり、グループワークは白熱していました。

今も増え続けている高齢者や認知症の方の交通事故。加害者被害者ともにならないような地域の取り組みを、各機関と連携を取りながらやっていこうと思います。



(WAC わをん 門田 千春)



地域支え合いグループの福祉リーダー養成講座で

6月28日、静岡県牧之原市の福祉センターにおいて、福祉リーダー養成講座の一環として、受講生22名を対象とした「うらしま太郎」体験が行われました。

この講座は牧之原市民を対象に、高齢社会に対応した自主的な支えあいグループのリーダーを養成することを目的としたもので、全5日間の研修日程で構成されており、今回の体験は高齢者の目線で地域を感じることを目的に開催されました。

当日は参加者を2つのグループに分け、片方のグループが高齢者体験、もう一方のグループは保健師による座学を受講する方法で行われました。

参加者は60代の男女が中心で、全員擬似体験が初めてながら、セット紹介では興味深そうに説明に聞き入っていました。

予め配布した体験プログラムに沿って、体験場所の福祉センター内での体験をしていただき、歩行のしにくさ、自販機の扱いの大変さなど、一つ一つの動作の不自由さを実感されていました。特に、自動販売機での買い物体験では、小銭の出しにくさ、メニューの選びにくさ等、通常の生活では感じられない不便さを実感出来た様子でした。最後のまとめでは、受講生の感想として「高齢者に対する見方が変わった」、「高齢者への接し方を考え直すきっかけになった」など、今後に向けての前向きな感想が多く聞かれ、充実した研修となりました。



(WAC 清水さわやかサービス 長倉 利仁)

持田製薬新入社員研修での高齢者疑似体験



6月21日、マステイズ新浦和コンファレスセンターにて、持田製薬株式会社の新入社員研修で、高齢者疑似体験を行いました。日常体験の他、薬を用いた項目を組み込んだプログラムでの体験です。薬の開封はしやすいか、小さな粒状の薬がテーブルや床に落ちた時に拾う事が出来るか、PTP シートから薬を取り出すことが出来るかどうか、取り出した薬を口元まで持って行って飲むのは大変ではないか、等々自社の製品を様々な角度からみてもらいます。体験後、グループワークを行い、代表者に発表をしてもらいました。体験で得た高齢者についての認識を、今後の仕事に活かしていきたいという声、どのグループからも聞く事が出来ました。今回の主旨は高齢者を理解するということでしたが、高齢者だけでなく様々な方の立場に立って、物を考えることが大切だという意見が最後に出ました。発表を聞き、この研修会に携わることが出来て、ほんとうに良かったと、インストラクター全員が実感しました。

◆ 今後の高齢者疑似体験インストラクター研修のお知らせ (会場はWAC 研修室です)

開催日時：2016年12月1日(木) 10:00~15:30 12月2日(金) 9:30~15:30 の2日間
2017年 3月2日(木) 10:00~15:30 3月3日(金) 9:30~15:30 の2日間
問合せ先：WAC 事務局 TEL:03-5405-1501 FAX:03-5405-1502



公益社団法人長寿社会文化協会 (WAC)

<http://www.wac.or.jp/> E-mail urashima@wac.or.jp
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 1F
TEL:03-5405-1501 FAX:03-5405-1502

